**おおさか優良緑化賞　応募用紙**

〔1/3〕

|  |
| --- |
| 【応募者・関係者】 |
| 応募者（建築主）氏名・連絡先 | （団体名・部署名・担当者名）（住所）〒 －  |
| （TEL）　　　　　　　　　　　　 | （FAX） |
| （E-mail） |
| 関係者（設計者）氏名・連絡先 | （団体名・部署名・担当者名）（住所）〒 －  |
| （TEL）　　　　　　　　　　　　 | （FAX） |
| （E-mail） |
| 関係者（建築施工者）氏名・連絡先 | （団体名・部署名・担当者名）（住所）〒 －  |
| （TEL）　　　　　　　　　　　　 | （FAX） |
| （E-mail） |
| 関係者（造園施工者）氏名・連絡先 | （団体名・部署名・担当者名）（住所）〒 －  |
| （TEL）　　　　　　　　　　　　 | （FAX） |
| （E-mail） |

〔2/3〕

【応募施設の概要】

※緑化必要面積及び緑化面積につきましては、必ず大阪府の自然環境保全条例施行規則第26条に定める緑化基準に基づき、緑化面積を算出してください。なお、算出に用いた根拠資料もご提出願います。様式は問いません。

|  |  |
| --- | --- |
| 応募の根拠 | □条例第34条（府条例適用施設）□条例第35条第3号（他法令適用施設）〔法令名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕□条例第38条（市町村緑化条例適用施設）　〔条例名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕 |
| 緑化完了書届出年月日 | 　　　年　　　月　　　日 |
| 建築物の名称 |  |
| 建築物の種類（用途） |  |
| 建築行為種別 | □新築　　□増築　　□改築 |
| 建築物の所在地 | （〒　　　　-　　　　　　　） |
| 対象敷地面積 | 　　　　　　　　　㎡（屋上ある場合、対象屋上面積　　　　　　　　　㎡） |
| 対象全体建築面積 | 　　　　　　　　　㎡（うち、増築の場合増築面積　　　　　　　　　　㎡） |
| 建ぺい率 | 法定の建ぺい率　　　　　％（うち、角地緩和等上乗せ分　　　　％） |
| 緑化必要面積※ | 地上部　　　　　　　　　　　㎡建築物上　　　　　　　　　　㎡　　　　合計　　　　　　　　　　㎡ |
| 緑化面積※ | 地上部　　　　　　　　　　　㎡建築物上　　　　　　　　　　㎡　　　　合計　　　　　　　　　　㎡ |
| 主な緑化手法（複数選択可） | □樹木植栽　　　□芝生・地被類・花壇等の植栽　　□池、水流等の設置□壁面緑化　　　□屋上・ベランダの緑化□その他（　　　　　　　　　） |
| 【取組みの詳細】 |
| 緑化に関してPRしたいポイント（複数選択可） | □緑量　　□いろどり　　□やすらぎ　　□高い緑化技術を駆使した施工□敷地の有効利用　　　　□景観の向上　　　　　□生態系の保全□利用者のふれあい　　　□資源の循環利用　　　□防災機能の向上□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）特にPRしたい内容（緑化コンセプトや、既存樹保存・移植・敷地外部への緑視効果など）　　　　　　　　　　　 |

〔3/3〕

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 緑量 | □樹高1ｍ以上の中・高木の植栽（本数：　　　　　　　　本）□壁面部の緑化（緑化面積：　　　　　　　　　㎡） |
| ② | 建築物や周辺環境とのバランス・調和に配慮した点 |  |
| 緑化施設の開放性 | □常時一般に開放　　　　　　□時間を指定し一般に開放　　□施設関係者に限定し開放　　□一般への開放はなし、または不可能備考（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ③ | 緑化空間の活用等配置の工夫（複数選択可） | □庭園等としての利用　　□休憩できる空間づくり　　□連続性のある緑陰□敷地外からのエントリーのしやすさ　　□回遊性の高い通路等の設置□地域のイベント・レクリエーション活動での利用□周辺から見える建築物や敷地の壁面部の緑化□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）備考：上記の選択された点につき、具体的に記載ください。 |
| ④ | 活用した緑化技術の内容 |  |
| ⑤ | 維持管理管理体制、管理設備、管理方法・頻度 | □業者委託して管理　　　　□施設関係者による管理　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| □自動散水　　　□手動散水（内容：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| □管理方法・頻度（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ⑥ | 自然環境・生物多様性への配慮（複数選択可） | □在来種、郷土種を植栽　　□既存樹木の意識的な保存　□周辺の生態系との連続性を考慮した緑地の設置（既存の緑地や河川と連続するように緑化を行うなど）　　□野生小動物の生息域の確保に配慮□地域社会との連携（環境教育の場として提供するなど） |
| その他 |  |